



やまびこ

大船渡市立盛小学校
令和5年度 NO.7
(通算 1052)
令和5年6月14日発行
文責：今野忠頼

●すすんで学び共に学ぶ子ども ●認め合い共によりよく生きる子ども ●心身共にたくましくしなやかな子ども

東北の歴史・産業・観光を学ぶ

思い出いっぱいの
修学旅行にしよう。



修学旅行

■6月8日(木) 1日目

朝、7時20分。全員元気に出発です。バスの中で一瞬マスクを外して写真撮影。笑顔いっぱい、とても楽しい修学旅行になりそうです。



バスの中でイントロクイズをしたり、おやつをたべたりして『平泉・中尊寺』に到着。

貴重な文化財が展示・保管されている讚衡蔵で歴史を学び、金色堂や本堂を見学しました。金色堂はもちろんで



すが、本堂も見事に勇壮です。子どもたちはそれぞれ願い事を祈願しました。ある子は、「家族みんなが幸せになりますように。」と願ったそうです。家族思いの子ですねえ。それしてもなんと人が多いこと・・・。

宮城県松島町の松島観光物産館で昼食を食べてから、『五大堂・瑞巖寺』の見学です。地元のガイドさんから五大堂や瑞巖寺にまつわる歴史について説明をしていただき、伊達政宗の時代に思いを馳せました。また、東日本大震災の被災からの復興についてもお話いただきました。



松島から塩釜までは船に乗って移動です。松島湾の大小様々な島についてのアナウンスを聞きながら塩釜に到着です。そこからバスで仙台市に向かいます。



1日目の最後は、『仙台うみの杜水族館』です。浅瀬や干潟から深海に至るまでの数多くの海洋生物を目にして、大迫力のイルカショーも観ることができました。

平泉、松島、仙台で気づいたのは人の多さです。修学旅行などの団体だけでなく、外国の方も含めて一般の方の姿が多く見られました。世の中の“with コロナ”への意識の変化を感じました。



■6月9日(金) 2日目

宿泊したのは『秋保グランドホテル』でした。友だちと一緒に一晩過ごすのも修学旅行の大事な思い出になります。

2日目の朝、外はあいにくの雨です。それでも子どもたちは、元気にわくわくした気持ちと一緒に出発です。



そして迎えた修学旅行最後のお買い物タイム。これが大変でした。外では雨が降っている上に、お土産屋さんの店内は、修学旅行で来ていた多くの学校の小学生もいて、大混雑です。レジまで続く列に並び、会計を終えるのに、およそ20分かかります。これは、いわゆる想定外の状況でした。気付くと、他の学校の先生方とアイコンタクトしながら交通整理をしていました。子どもたちは、お目当ての物が買えたかなあ。



修学旅行の最後は『八木山ベニーランド』です。2日目はここまで雨だったので、なんとか晴れてくれないうと祈りながら向かいます。



2日目は、『仙台市科学館』での学習からスタートです。

自然界のしくみや科学の不思議を体験する展示、そしてくらしの中の科学を体験する展示に子どもたちの目が

輝いていました。

雨の中、次に向かったのは『青葉城址』です。

この場所から仙台市を一望できるはずでしたが、残念なことに強い雨のためによく見えません。それでも子どもたちは、笑顔で記念写真撮影です。みんな偉いねえ。



そんな子どもたちの姿を見ていて頭に浮かんだのが…

「雨ニモマケズ
風ニモマケズ
雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ ……」

なんともありきたりですが、子どもたちはこの雨さえも楽しんでいるように見えました。



駐車場に止めたバスの中で昼食を食べ、記念の集合写真を撮り終わると、子どもたちは一目散にアトラクションへ駆けていきます。すると、

雨は徐々に小降りになり、やがて空は明るくなってきました。幸運を引き寄せる子どもたちです。

時間いっぱい遊園地を満喫した子どもたちは、満足した表情でバスに乗り帰路につきました。



15名全員が参加しての修学旅行。

見学した先々ですれ違う人たちにも元気にあいさつする子どもたち、先生方や添乗員さんの話をしっかり聞く子どもたち、自分だけが楽しむのではなく、他の人も一緒に楽しむことを考える子どもたち、そんな子どもたちの本当に素敵な修学旅行でした。ありがとう。

(交通指導員さんにもお土産をあげた子がいたそうです。お土産をもらった指導員さんは嬉しそうに「神棚にあげる。」と話していました。)

